

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（8月下旬掲載予定）

まちの今後

…総合政策

今後の市政運営は

小高時男議員

問 本市はさまざまな改革と政策実現に向け、まちづくりに取り組んできた。その市政運営の成果は多くの市民も認めているとお聞きしているが、今後その声にどのように応えるのか。

答 特に、子育てや教育及び高齢者等各種施策に取り組んできた。また、一向に整備が進まなかった上福岡駅東口駅前広場も、暫定整備から本整備に向け取り組んでいる。

さらに、財政基盤の強化と合併の恩恵を生かした市政運営を進めて

きた。今後も、子ども優先の政策を継続し、現役世代の人口を増やすことにより、高齢者を支えていける持続可能なまちの実現に向け、改革と実行のスピードは緩めない。

「選ばれるまち日本一」を目指し、市民がひとつの家族のような「あったかいふじみ野市」をつくりあげる。

憲法を暮らしに生かす市政とは

塚越洋一議員

問 憲法第9条、第25条について、どのように市政に反映しているのか。

答 行政運営は、憲法に基づき行うものである。憲法第9条については、

職員配置の考え方は

西和彦議員

問 職員の配置については、市民サービスに関係するが、各部署の業務量に応じた人員の配置はどのようなものか。

答 各部署の現状及び懸案事項の把握や権限移譲による事務量の増加と指定管理者制度、窓口業務委託の導入等を勘案し、職員の配置をしている。

ふるさと納税の促進を

民部佳代議員

問 自治体への寄付が税額控除されるふるさと納税が定着してきた。寄付者に特産品を贈る自治体もあり、自治体を選んで寄付する納税者もいる。市でも特産品でふるさと納税を促進できないか。

答 効果には賛否両論があり、市では行っていない。今後研究していく。

消費税増税による影響

新井光男議員

問 8%から10%に増税

活力あるまち

…まちづくり

電算システム調達の最適化を

小林憲人議員

問 長期にわたる契約業者の固定化は、競争性が失われ契約金額の増加を招くこともある。対策は。

答 透明で公正な契約の執行を目的とした、電算システム調達ガイドラインの作成を目指している。

公共施設予約システムの改善

伊藤初美議員

問 パソコンの苦手な

利用しやすい市内循環バスに

伊藤美枝子議員

問 3月31日をもって東武バスのふじみ野駅東口から上福岡駅東口までの路線が廃止され、利用者が大変困っている。今後ますます高齢者人口も増え、自転車や自家用車に代わる移動手段が必要となる。公共交通が空白となつていて地域の課題も含め、対策が必要では。

答 バスの利用が不便な地域もあり、その解消も見直しの目標とする。アンケート結果をもとに地域ごとのニーズや状況に即したものと、将来的に持続可能なシステムを構築したい。

市内循環バス運行の拡充

足立志津子議員

問 循環バスは交通権を保障する政策だ。運行見直しには、住民の交通便利性向上や増便が必要。財政的見通しは。

答 持続可能な方策を具体化した。

観光を楽しめるまちに向けて

小林憲人議員

問 福岡河岸記念館に年間パスポートの導入を。

答 リピーターを増や

新鮮な地元野菜を広めるために

島田典朗議員

問 市役所本庁舎前で行っている地元野菜の直売「採れたてふじみ野畑」の今後の展開は。

答 大井総合支所においても、8月の開所以降、毎月1回の開催を考えている。

問 大井総合支所の開所セレモニーでの開催は。

答 今後開催していくに当たりよい機会であると考えており、8月



旧大井保健センター



明治の風薫る福岡河岸記念館